

あきたさん家の物語

長引く不況は雇用の問題にとどまらず、年金、健康保険、税金関係などにも影響を与えています。今号から始まる、あきたさん家の物語。秋田市に住む架空の家庭を例に、雇用に関する状況を少しでも理解していただくためのシリーズです。



突然のリストラ。これからどうなるの!?

あきたさん一家は、ごく普通のどこにもある一家です。ところが、昨年暮れに主人公のあきた一郎さんの会社が不況によるリストラ策を発表し、一郎さんは1月いっぱい解雇されることになりました。

この連載では、再就職へのステップ、各種制度の活用などいろいろなテーマを設定し、あきたさん一家がいかにして雇用に関わる問題に対処していくのかをストーリー仕立てで紹介していきます。

～あきた家のプロフィール～

- 母 年子(70歳) 無職(国民年金受給) 年収80万円
- 世帯主 一郎(46歳) 市内半導体関連機械製造会社 課長 24年勤務 年収630万円
- 妻 花子(43歳) 主婦(スーパーでパート) 年収90万円
- 子 春子(20歳) 東京都内大学 3年生
- 子 夏子(16歳) 県立高校 2年生
- 子 冬男(14歳) 中学校 3年生

【世帯の状況】

- ・5年前に秋田市郊外に一戸建て住宅を購入(住宅ローン有り)
- ・長女に毎月15万円送金。長女は日本育英会奨学金を受給している
- ・一郎さんは会社経営不振のため、1月末でリストラを宣告されている

次回 一郎さんが雇用保険受給手続きのためハローワークを訪れる話です。

問い合わせ

秋田市緊急経済・雇用対策本部(事務局は工業労政課)
☎(866)2114

雇用相談窓口のご利用を!

場所: 市役所 1階市民相談室内
相談日: 月～金曜日(祝日を除く)
午前8時30分～午後5時15分

求人情報の提供、求職活動への助言、各種職業訓練の案内などを行います。

窓口の雇用専門アドバイザー・佐藤次夫さんは、「みなさんそれぞれの、各ケースに合ったアドバイスを心がけます。市役所の窓口に来たついででも結構です。気になることがあったら何でもご相談ください」と一言。どうぞご利用ください。



佐藤次夫さん

問い合わせ 市民相談室☎(866)2039
工業労政課☎(866)2114

秋田市文化団体連盟章

秋田市文化団体連盟章は、市の芸術・文化活動の推進に功績のあったかたに贈られます。今年度の受章者のみなさんです。

華道 齋藤理富美さん 本名・富美子 (高陽青柳町)



昭和18年古流松應会に入門。同30年県華道連盟に入会後、後進の育成に励み、各種いけばな展などを運営。華道の普及発展に尽力しました。県いけばな作家協会委員。

茶道 越中谷宗茂さん 本名・シゲ (土崎港中央三丁目)



昭和26年茶道裏千家入門、平成11年に正教授。芸術祭合同茶会や千秋茶会などの茶席を担当し、茶道の普及発展に貢献しました。茶道裏千家淡交会秋田支部常任幹事。

邦舞 藤蔭季京さん 井川京子 (新屋松美ガ丘)



昭和59年に藤蔭季代恵に師事、平成6年に同流師範。県内外の公演に積極的に参加、後進の指導育成に励み、邦舞の普及発展に貢献しました。藤蔭流藤清会師範。

歌謡 高橋信夫さん (将軍野東一丁目)



平成元年にカガヤ歌謡研究会入会。会の企画運営につとめ、市芸術祭などの各種大会に出演。歌謡文化の普及振興に尽力しました。カガヤ歌謡研究会事務局長。

箏曲 古城美知賀さん 本名・美知子 (保野野鉄砲町)



幼少より箏の道にはいり、2代目足達清賀に師事、芸歴55年。国内外の公演に参加し国際親善に努めるなど、箏曲の普及発展に貢献しました。県三曲連盟理事。

書道 茂林憲子さん (楢山南中町)



2歳より書に親しみ、柳田泰雲門下となり、昭和51年学書院審査会員。国内外の代表院展に積極的に出品し、書道の普及発展に尽力しました。孝華書院主宰。

特別章 那波宗久さん (大町三丁目)



秋田市の文化を育てる市民の会の副会長・実行委員として、市文化団体連盟との共催事業などを企画運営し成功を収め、本市芸術文化の向上に貢献しました。